

講義名	ミクロ経済学		
科目区分	学部フリーゾーン		
担当教員	岡島 慶知		
開講期・曜日・時限	前期 月曜日 3時限		
	2018年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2018年度 人間社会学部 観光学科 / 2018年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2018年度 経済学部 経済情報学科 / 2018年度 経済学部 経済学科 / 2018年度 商学部 マーケティング学科 / 2018年度 商学部 経営学科 / 2017年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2017年度 人間社会学部 観光学科 / 2017年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2017年度 経済学部 経済情報学科 / 2017年度 経済学部 経済学科 /		
履修開始年次	2年生	単位数	2
		講義コード	13037

主題と概要

ミクロ経済学の主題は、以下の『』で囲まれた用語・概念を学ぶことです。概要をイメージしやすくするために、学んだ用語・概念を現実事例にどう応用するかという応用対象も含めて、以下いくつかを例示します：（１）『インセンティブ』．応用例：政府がお金を出せば女性は子供を生むだろうか？（２）『効用最大化』．応用例：右上がりの需要曲線は存在するか？（３）『行動経済学』．応用例：あなたの意思決定は合理的か？（４）『完全競争市場』．応用例：iPhoneのアプリ市場はどのような特徴を持つか？（５）『独占的競争』．応用例：スターバックスのコーヒー事業の盛衰とは？（６）『寡占』．応用例：産油国間の石油減産協調はなぜうまくいかないのか？（７）『独占』．応用例：マイクロソフトのソフトウェア価格はどんな特徴を持つか？（８）『価格戦略』．応用例：映画館にはなぜ多くの種類の価格が存在するのか？

到達目標

学生はミクロ経済学の基本を身につけ、様々な経済問題を経済学的な視点から評価し、解決策を考えることができるようになります。

提出課題

予習復習サイトにアクセスして解答してもらいます（ケータイからのアクセス可）。

評価の基準

授業内小テスト1点＊15回＝15点
発表3点＊5回機会＝15点
予習復習2点＊15回＝30点（予習15，復習15）
中間テスト12点
期末テスト28点
合計100点．100点を超える得点については調整（予定）

履修にあたっての注意・助言他

受講態度が悪い場合には、数十点を減点されるリスクがあります。

教科書

プリント資料及び参考文献

授業計画

1. 経済学
2. 第2章 企業、株式市場とコーポレート・ガバナンス
3. 第3章 比較優位と、貿易から得られる利益
4. 第4章 消費者選択と行動経済学
5. 第5章 技術、生産と費用
6. 第6章 完全競争市場における企業
7. 第7章 独占的競争
8. 中間テスト＋復習
9. 第8章 寡占
10. 第9章 独占と反トラスト政策
11. 第10章 価格戦略
12. 第11章 労働市場
13. 第12章 情報の経済学
14. 第13章 公共選択、税と所得分配
15. 補論 価格差別

予習・復習

授業内で指示する

備考